



Pararise

重要な課題のダイヤモンド図

1、在留特別許可

2、日本人児童に対する教育、労働・生活の保障

3、外国人児童に対する教育、受け入れ、
外国人住民に対する言語サポート(労働者への教育)

4、外国人滞在の利点の発案、オールドカマー(在日朝鮮人など)
に対する補償と保障

5、政府間協力

ダイヤの順序の理由

- **1、在留特別許可**
滞在が保障されない限り生活も教育も労働も意味が無い。
- **2、日本人児童に対する教育／労働・生活の保障**
前者は生活に密接な問題であり、その重要性は滞在の次に大きいということ。後者は、教育は偏見の解消や理解を深めるための第一歩であり、早く取り組みできるだけ早い効果を期待する。日本人児童を優先するのは人数の面から効率がよいという点より。
- **3、外国人児童に対する教育／外国人住民に対する言語サポート(労働者への教育)／受け入れ**
外国人児童に対する教育。仕事を得る上でより高い教育を受けていることは有利であるということ。受け入れに関するものが下位なのは、まずは内的環境を整えなければ、人の流れをどうしても仕方ないということから。
- **4、外国人滞在の利点の発案／オールドカマー(在日朝鮮人など)に対する補償と保障**
成人を対象とするもので、生活や仕事がスムーズに行くことを目的とする。また、アイデンティティの問題解消を目的とする。
- **5、政府間協力**
実現した際の効果は大きそうだが、利害調整や互いの国の問題点の改善など、時間がかかることが予想される。

在留特別許可制度について、 政府は何をすべきか

- 政府の考えが曖昧で、それによっていくつかの要件が時代遅れのものになってきている。
- それをグローバル化の流れに適当なものに改変する事が課題となる。
- その例として、専門技術を持つ労働者は受け入れるが、単純労働者を受け入れないとする政府の考えがある。それは、在留資格の要件の曖昧さの原因となっている。そこから政府の裁量による決定が増えているように思われる。
- また、制度が整えられつつあるとはいえ、その制度がきちんと適用されているかどうかは疑問の残るところ。